



2025 年度 神戸薬科大学 地域医療多職種連携に積極的に関わる薬剤師養成プログラム ～地域医療多職種連携の裏側、全部見せます～

－受講者募集要項－

【目 的】

医療の高度化、患者の高齢化の進展とともに、我が国の医療環境は大きく変貌し、地域包括ケアシステムに基づく患者居宅を中心とする住み慣れた地域における医療提供の重要性がますます高まっています。薬剤師も他職種と連携・協働し、地域医療を担う医療チームの一員として専門性を発揮することが強く求められています。そこで、神戸薬科大学エクステンションセンターでは生涯研修支援事業の一環として、専門知識や技術に加えて地域医療における多職種連携に積極的に関わる能力をそなえた薬剤師を養成するためのプログラム『地域医療多職種連携に積極的に関わる薬剤師養成プログラム』の受講者を募集します。

なお、幅広く多くの薬剤師の方に受講していただく事を目的として、以前の『「在宅医療」を支援する指導薬剤師養成プログラム』から名称を変更しました。

【募集人数】 5 名程度

【実施期間】 2025 年 6 月～2026 年 3 月

【受講資格】

1. 現在、病院あるいは薬局に勤務されている現役の薬剤師の方
2. 臨床能力育成プログラムに積極的に参加できる方
3. 勤務先からプログラム受講の内諾を得られる方

※ご質問は【お問い合わせ先】までお願いします。



【申込方法と受付期間】

＜申込方法＞ 以下の項目を記載した履歴書(市販の履歴書使用可)を
神戸薬科大学エクステンションセンターまで郵送してください。

●住所、氏名、生年月日、連絡先(電話、メールアドレス)、学歴、職歴、
所属(勤務先)、写真貼付(縦 4cm×横 3cm)

●在宅に関する経験年数(例:2年、未経験等)、このプログラムを志望した動機

＜受付期間＞ 2025 年 4 月 1 日(火)～2025 年 6 月 10 日(火)必着

【選考方法】 上記書類選考の上、決定します。

【受 講 料】

30,000 円

※以下に示す、他職種理解のための研修、医療・介護・福祉現場での研修費及び神戸薬科大学エクステンションセンター生涯研修支援プログラムのうち必修受講講座の受講料を含む。

※別途保険(普通傷害保険)への加入が必要(2,000 円程度の費用負担有り、加入手続きは本学が対応、既に傷害保険等に参加している場合は加入不要)。

※医療現場での研修、研修会への参加にかかる交通費等は自己負担となります。

【お問い合わせ先・申込書類提出先】

神戸薬科大学エクステンションセンター

〒658-8558 神戸市東灘区本山北町 4-19-1

TEL:078-441-7627(直通)

E-mail:extc@kobepharm-u.ac.jp

URL:<https://www.kobepharm-u.ac.jp/extension/>

【受講内容】

1. 生涯研修スキルアッププログラム

2025年度 神戸薬科大学エクステンションセンター生涯研修支援プログラムのうち、次の講座を受講して頂きます。

開催日・時間・場所	講座名	単位数
2025年6月22日(日) 10:00～13:10 本学G棟5階	第68回薬剤師実践塾 無菌調製の基礎 —微生物汚染を回避する医療センスを培う—	1.5
2025年8月3日(日) 10:00～12:30 Zoom	第21回症例検討会 SGD(スモール・グループ・ディスカッション)による 症例検討	1.5
2025年11月3日(月・祝) 10:00～12:30 地域連携サテライトセンター	第69回薬剤師実践塾 医療的ケア児の支援、今、どうなっているの？ ～薬剤師・多職種には何ができる？ 基本から学び、一緒に考えよう～	1.5
2026年2月8日(日) 10:00～12:30 地域連携サテライトセンター	第22回症例検討会 SGD(スモール・グループ・ディスカッション)による 症例検討	1.5
2026年3月8日(日) 10:00～13:10 地域連携サテライトセンター	第70回薬剤師実践塾 在宅医療に必要なアセスメント	1.5

※開催日の概ね1～2ヶ月前から受付を開始しますので、各自必ず申し込んでください。

本プログラムの受講料を一括で納入いただきますので、各講座受講料のお振込は不要です。本プログラム受講者のお申込みを確認次第、[受付完了メール]を配信いたします。

2. 臨床能力育成プログラム

① 他職種理解のための研修

在宅医療や地域包括ケアシステムに関与する薬剤師以外の職種に対する理解を深めるための研修動画の視聴(11月頃を予定)。

② 医療・介護・福祉現場(介護老人保健施設、訪問看護ステーション、居宅介護支援事業所、地域包括支援センター等)での研修(在宅患者宅への訪問同行や他職種の業務研修等、2日間で3施設程度)。必ず、勤務先の了解を得て受講すること。

※②は本学と連携協定を締結している地域包括ケアシステムにおける多職種連携を推進する特定非営利活動法人 エナガの会の協力を得て、神戸市垂水区を中心に実施。実施日は、受講者と受入施設の希望日程を確認の上決定(11月～3月の間で実施予定)。訪問後1週間程度で、訪問同行レポート(様式有)を提出すること。

3. 修了レポートの提出(訪問同行レポートとは別に提出)

課題は自由(在宅における問題点、実際の症例、薬剤師としてどのように関わるべきか等)
A4用紙1枚以上を提出すること。

4. 報告会での発表(2026年6月頃に実施予定)

1名につき10分(発表5分、質問時間5分)のパワーポイントによるプレゼンテーションを行う。

5. 報告書の作成

報告会発表用スライド原稿、1. 訪問同行レポート、3. 修了レポートの3点を合わせて、本学が報告書(冊子体)を作成し、報告会で配布する。

6. 修了証書の交付

上記1～5のプログラムを終了した受講者には修了証書を交付する。